



生石まちづくり通信

〈第18号〉

生石地区まちづくり協議会

発行責任者：福山 勝幸

編集責任者：石本 隆廣

松山市高岡町860-67

TEL/FAX: 971-2975

生石小学校「収穫の秋！」(19回目)

地域の力・保護者のサポート受け稲刈りたいけん!!



10月9日(水)生石小学校では、地域の皆さん60余名とPTAや学校関係者多数の支援のもと、全校児童による「稲刈り」の体験学習を行いました。(写真は5年3組の皆さん)

私は、今回で三回目の稲刈りをしました。かまを持つのは久しぶりで不安でしたが、地域の方に教わってからは、早くかんたんにできました。上手にかれたのでうれしかったです。

友達がかりとった稲を、機械の近くにつくえまで運ぶ作業もしました。五年生になって去年より多くかることができたのでよかったです。たくさんの地域の方々が来てくださって、とても感謝しています。

生石小五年 木澤 美空

わたしたちの手作りかかしで鳥を追いはらうことができたかなと思いました。本当に地いきの方々や保護者のみなさんのおかげでうまくいきました。もちつきも楽しみです。

十月九日は稲かりでした。三年生から始めて三回目の稲かりは少しなれていたので、うまくできたかなと思いました。

わたしは、太い株と細い株があったこと、手刈りではなくコンバインなら三十分でスピーディーにできることを知りました。

生石小五年 亀岡 花

今年の稲刈りはぼくたち五年生が中心で行いました。九月に入りウンカの被害がありました。九月に地域の人々が消毒してくれたのでたくさんお米が取れて感謝しています。

六月の田植えから、ゴミを拾ったりかかしを立てたりして稲を見守り続けたので稲かりの時は四年生のときより達成感がありました。みんながんばって育てたお米でもちつきするのが楽しみです。

生石小五年 浅海 崇

生石の宝もの!

雨の日も・風雪の日も

子どもたちの登校を見守り30年!



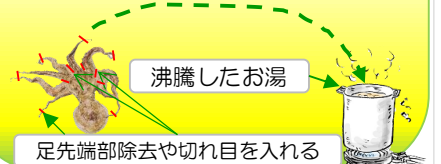
「おはようございまーす!」朝7時すぎ、元気な声で登校の子供たちの列が続々と歩道橋を渡っていく。南吉田東の交差点。折しも通勤通学のラッシュ時とあって、四方から車、自転車、歩行者が集中し、行きかう。事故が心配される場所で信号機もない。なのに通行が円滑であるのは、永年にわたりここで交通整理誘導を行っている、新口宗弘さん(79歳)の活動によるところが大きい。30年ほど前に町内会から子供たちの見守り活動への誘いを機に、その必要性を強く感じて行動を起こし、それからは雨風雪の日も厭わず今日まで活動を続けてきた。子供たちから「ありがとう!」と声かけられることが嬉しく、励みになったとも話す。高齢ではあるけれど、今後も体が動くかぎり活動を続けたいとニコリ。 林 敬道(記)

<豆ちしき>

生ダコを美味しくボイル!

下図の様に足に切れ目を入れ、塩でもみ又メリをよく取ります(吸盤のところは特にいいに!)

沸騰したお湯に塩を加え(約3%)頭の方から入れ、2分程度ボイルしてから全体をつけます。はし等でよく混ぜ、1kgのタコで7~8分程度ボイルすれば出来上がります。決して「沸騰」させないように・・・(仕上がりが悪く、硬くなります)沸騰しそうになったら水を加えておさえて下さい。大政 勝利(記)



「応急給水設備」が

生石小学校正門脇に設置されました！

生石小学校は、地震や大規模災害時の指定避難所に指定されていますが、このほど「応急給水栓」が正門脇に設置されました。校庭の校舎側には「ミストシャワー付き給水場」も整備されています。「応急給水栓」は備え付けのホースを給水栓に取り付け、組み立て式蛇口を取り付ければ、給水が可能となります。

「備えあれば憂いなし」と言われますが、まずは予告なく発生する災害に備え、それぞれのご家庭で、飲料水の備蓄をしておくことをお勧めします。備蓄の目安は、3リットル／人・日×7日分が目安とされています。また、水を運ぶための「飲料水用ポリタンク」なども必要です。

詳しくは松山市のホームページ「公営企業局」から「まつやまの水道；NO. 3」を参照ください。



正門脇の応急給水栓



校舎側に設けられたミストシャワー付給水場

応急給水栓を整備しています

公助

大きな地震が起こったときに、できるだけ早く水道水をお届けするために、指定避難所になっている小中学校に「応急給水栓」を整備しています。



このほかにも、給水車や消防ポンプ車などをお呼びします。

計算しよう！我が家の目安

（資料は、松山市HPより抜粋）



9月26日（木）「まちづくり女子会」に福祉部より2名出席しました。（写真はまちづくり課提供）

まちづくり「女子会」に参加して！

9月26日（木）コムズ（男女共同参画推進センター）で行われました「まちづくり女子会」（今回7回目）に参加しました。今回は各地区のまち協福祉部より2名ずつの参加でした。

会は、5名ずつのグループに分かれ、各地区の活動状況について話し合いました。いろんな立場の方がまち協に参加されているので、他の所の良いところ、我が地区の良いところが見えて、有意義な会でした。

その中でも、昨年災害に遭った高浜地区は、自主防災組織が主導する、災害時の避難誘導、避難者支援、通常時の要支援者の可視化（マップ化）などに、民生・児童委員協議会とまち協も一緒に取り組んでいるなど、実際経験された方の話だったので、今からの活動にまち協が果たす役割が増えてくるのではと感じました。福祉部 藤淵 聡子（記）

生石地区の「名人さん」S（探そう）HOSEKI（宝石）を探しています！！



生石まち協

私たちの町、生石には文化財だけでなく、名人さんと呼びたい人財（人材）がまだまだ埋もれています。今、教育文化部では、S（探そう）HOSEKI（宝石）と銘打って、小・中学校の地域学習（ふるさと巡り）、平和・防災学習のゲストティーチャーや「ふるさとマップ」にある文化財のいわれや逸話など披露していただける方を募集しています。過去の空襲・戦争体験、水害や地震などの自然災害の体験を、子どもたちに伝えていくことは大事なことです。

これらの語り部として、ぜひ教育文化部の人材バンクに登録していただきたいのです。自薦他薦を問いません。どなたでもご応募ください。またパソコンに堪能な方、花づくりの上手な方など、まちづくり協議会の活動を手助けして下さる方も募集しています。皆さん地域・社会活動に参加してみませんか？！

（問い合わせは教育文化部長 替地和人まで！）

電話；089-973-8213

親子でエコクッキングに挑戦！

環境部では、8月24日（土）生石公民館において、「食材からごみを減らす！」を目的にエコクッキング講習会を行いました。今回で3回目、今年度は南吉田町在住の親子（小学1年生～6年生）を対象に参加者を募集したところ、15組35名の参加希望者がありました。

当日は、松山市より派遣していただきましたエコリーダーより、ゴミの削減につながる「買い物からゴミの後始末まで」一連の説明を聞き、参加者全員で学習した後、親子で協力して調理を開始！

参加者は和気あいあいと料理をしたり、親子で料理をするのが初めてだという参加者もいて、「参加して良かった」機会があれば家でも親子で料理したいなどの声もあり、有意義なエコクッキング教室となりました。

今後は、各地区へ展開して募集を募り、実施して行く予定です。

環境部 鶴籠 洋（記）



ポリ袋で調理しています！！

松山空港イベント「空の日フェスタ2019」 生石地区まちづくり協議会特設展示コーナーでお楽しみステージ！



元気よくソーラン節を踊る生石保育園児たち

9月28日（土）松山空港イベント「空の日フェスタ2019」が開催され、生石地区まちづくり協議会では、今年3回目となる特設展示コーナーを空港ビル2階搭乗口フロアに開設させて頂きました。

コーナーでは、垣生山をテーマとした写真や生石地区史跡マップなどの展示を行い、空港を訪れた多くの皆さんに生石地区の魅力をアピール！ お楽しみステージでは、今年も、生石保育園児たちによる「ソーラン節」やダンス、また西中学生2人組による「けん玉の妙技」を披露し、最後は、伊予民謡研究会、茂弥教室社中の皆さんによる「愛媛にちなんだ曲」12曲を選曲していただき、艶やかに舞って頂きました。最終舞曲の「まさき色の風」では、空港を訪れた皆さんも一緒になって踊るなど大変盛り上がったイベント参加となりました。



伊予民謡研究会、茂弥教室社中の皆さんによる艶やかな舞！



けん玉妙技に拍手喝采！



第46回生石地区体育祭盛大に開催！

10月20日（日）西中学校グラウンドに各分館からおよそ800名が参加して、第46回生石地区体育祭が盛大に行われました。

前日の雨で関係者を悩ませた天候も回復し、絶好のスポーツ日和となりました。今年は、大会終了後の閉会式で「お楽しみ抽会」も計画されていて、先着500名の抽選番号付きプログラムは、瞬く間に無くなっていました。

競技は、参加者全員でラジオ体操を行った後、「信号スグロク」「みんなでジャンプ」へと続き、力自慢を競う？「綱引き」など、何と言ってもこの体育祭の花形種目は、「分館対抗リレー」です。各分館精鋭を揃えて予選、決勝を戦い、見事優勝を決めたのは「高岡分館」でした。

また、総合優勝は南吉田分館、準優勝高岡分館、三位は北吉田分館となりました。



イジとイジのぶつかり合い！軍配は高岡分館に！



選手宣誓！



まかせといて！



心ひとつにジャンプ！



医療法人ミネルワ会
老人保健施設ミネルワ

松山市高岡町302-2
TEL 972-9500

えひめ中央農業協同組合

生石支所

松山市高岡町841-1
TEL 972-0057

内科・消化器科・外科
医療法人河原医院

松山市高岡町630-3
TEL 971-2025

笑顔のあふれる病院～
医療法人結和会 松山西病院

休診：日曜／祭日・木曜午後・土曜午後
松山市富久町360-1
TEL 972-3355

北吉田診療所

循環器科・内科・消化器科・小児科

松山市北吉田町1019-1
TEL 965-4180

愛媛銀行

空港通支店

松山市高岡町79-2
TEL 971-9200

ベルモニー会館 空港通

家族葬から一般葬、社葬まで
葬儀事前相談随時受付中

南吉田町1446-1 Tel.974-4441

ご寄付のお礼！

「生石地区まちづくり協議会」に、ご寄付を賜りました、各事業者の皆さま、誠にありがとうございます。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

西中吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクールに2年連続出場おめでとう！！

2年連続で全国大会に出場できたことは、簡単なことではありませんでした。部員たちの頑張り、周りの方々のご支援のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今年は全国の舞台を楽しむことができた部員も多かったように思います。部活動を通して経験できた、仲間を大切にする心や、周りのすべてに対する感謝の気持ちを、これから大切にしたいと思っています。西中 坪田 美知子（記）



全日本吹奏楽コンクール出場者のみなさん



埴生山城のお話を聞く園児たち

埴生山のぼったヨ！・・・お姫様いたのかな～？

10月16日（水）、生石保育園では、「生石地区史跡めぐり」を行い、今回、年長、年中園児48名が埴生山に登り、「埴生山城址」を見てきました。

昔、昔（平安時代の末期）平家と源氏の戦いの際に、道後湯築城主河野氏の家来であった生石地域の豪族である埴生氏が、高岡（山頂110mのところ）に砦を築いて合戦に参加したことを知り、子どもたちは、「松山城みたいなお城があったの？」「お姫様がいたのかな？」と、埴生山の昔を想像しながら、頂上から生石地区の街並みを眺め楽しむことができました。樋口 りえみ（記）



写真左フェンス側が「洗地川」道一面に覆い茂っていた雑草を刈りスッキリ！！
（撮影：10/23）

草刈ってスッキリ散歩道！

洗地川の管理が市から県に移管されたことにより、除草作業が年2回から2年に1回に変更となりました。土手の両側の草は130cm以上も伸び道に倒れ込む程でした。

散歩の人たちが通りにくいということで、8月下旬から9月の暑い中、久保田町の宮内伸一さん、井上喜一さん、榎本和加雄さんが自前の草刈り機で除草作業をしてくださいました。おかげで土手はさっぱりして、散歩もしやすくなりました。ありがとうございます。藤井 智恵（記）



写真左は受講中の中学生

西中学生の防災教室開催！

10月17日（木）生石公民館において、西中学校1年生35名が参加して、防災教室が行われ、講師には、日本防災士会愛媛県支部の八木さんと生石まち協生活安全部の三好さんが招かれ、応急手当や避難所運営、応急仮設トイレの製作方法などについて学んでいました。

生石グラウンドゴルフクラブは、令和元年9月1日、永年にわたる生石地区の子どもたちの見守り活動や、いきいき教室、米づくり支援などの社会貢献活動が認められ、このほど国土大臣より「社会貢献章」が授与されました。



感謝状と盾

防災訓練に参加しよう！

主催；生石地区自主防災組織連合

日時 令和元年11月17日（日）

（9時00分～12時30分）

★雨天時は、一部内容を変更して実施致します！

場所 生石小学校グラウンド及び体育館

（※炊き出し訓練では「カレー」を試食して頂きます！！）

< 編集後記 >

台風19号は、長野県や関東、東北地方の広範囲に渡り、甚大な災害をもたらし、80名を超える尊い命が犠牲となりました。「命を守る」早目の避難行動の大切さ！情報伝達の速さと、正確さがいかに大切であるかということを学び、関係者はその一つ一つを検証するとともに、問題点の改善と対策を図り、そこに住む人たちは、それを実践に移すことだと思う。想定外では済まされない今日、まずは、我が身の安全確保が最優先です！

石本 隆廣（記）

- ☆11月17日（日）生石地区防災訓練
- ★11月30日（土）生石小三代交流もちつき大会
- ★12月14日（土）親子ふれあいday
- ★12月21日（土）ピンポンパン教室クリスマス会
- ☆1月1日（水）埴生山初日の出登山
- ★1月12日（日）生石地区成人式
- ★1月24日（金）高齢者男性料理教室